

地域に暮らす新しいグループリビング

# ことらいふ東寺・入居のご案内

保存版



ことらいふ嵯峨野

## グループリビングとは

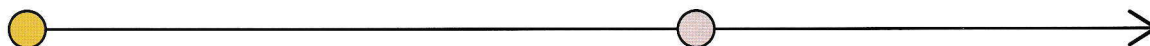
高齢者施設でもなく、共同住宅でもなく、血縁関係のない人たちがくらし合う「我が家」です。

この度、東寺の五重塔の南にある九条塔南地域において、京都で二つ目のグループリビング「ことらいふ東寺」を建設することになりました。この地域は南区のど真ん中でライフラインの全てが徒歩圏内にある、とても住みやすい地域です。何よりも居場所よっとーくりやすの永年の活動の基礎があり、安心して暮らせる地域に助け合い・支え合う基盤があります。株式会社ことらいふの社名の由来は古都で生活（ライフ）というだけでなく、今まで生活してきた異なる（こと）人たちが一つ屋根の下で最後までトライ（挑戦）しながらライフ（生活）するという意味合いがあります。私たちが安心して楽しく暮らせる住まいなのでご入居をお薦めします。

株式会社ことらいふ 代表取締役 増田二三夫

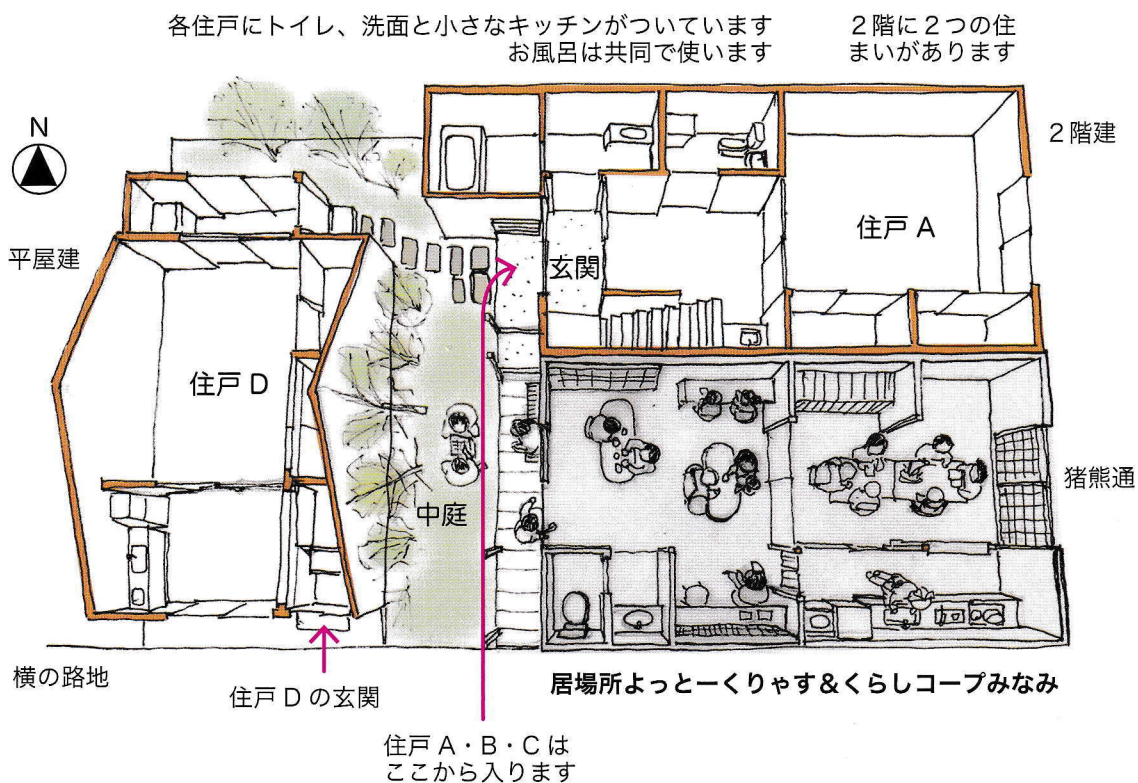
2021年1月プロジェクト START

2022年1月 OPEN 予定



# 私たちの安心の住まいの理念と約束事

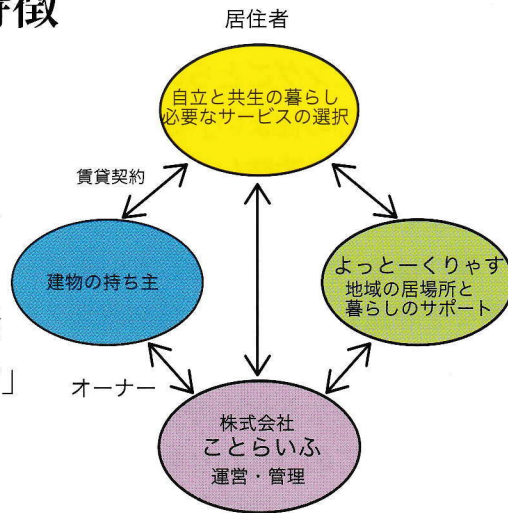
1. 自立と共生をめざした人たちの共同の住まいです。
2. お互いに助け合い、支えあいながら集まって共に暮らすことを楽しみます。
3. 自分らしく暮らすことを大事にし、プライバシーと自由が尊重される個室があります。
4. 身体機能が低下しても長く住めるように心がけ、地域で支えられる仕組みを作ります。
5. 住まいに閉じこもらず、これまでの人生で培ってきた経験や力を地域に生かします。
6. 必要なときは外部の各種サービスを受けます。日常的な暮らしに必要なサポートは（株）ことらいふ・くらしコープ・よっとーくりやすがサポートします。



京町家を改装して、4つの住まいと、一つの居場所と、路地のような中庭を作ります。  
1階の角に新しい居場所よっとーくりやす&くらしコープみなみができます。

# 「ことらいふ東寺」の五つの特徴

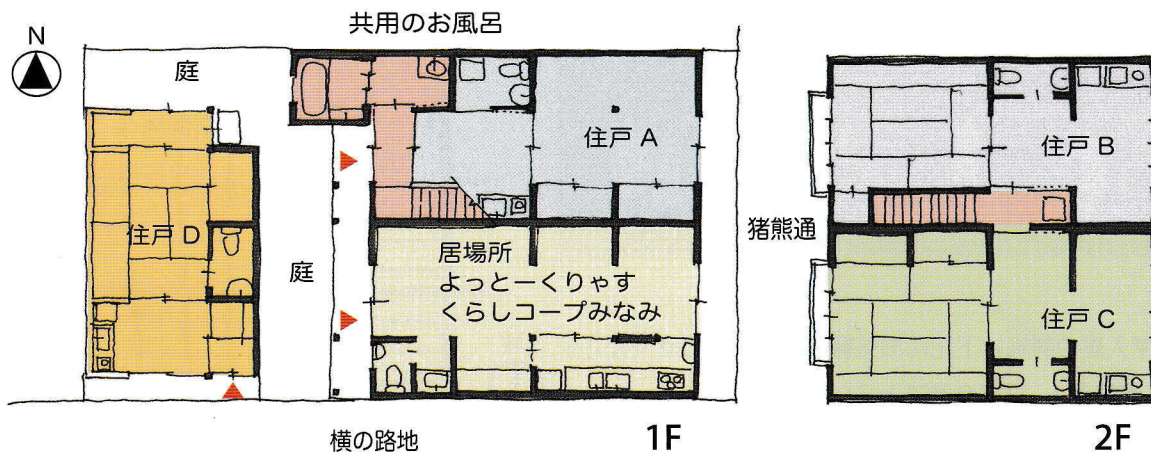
1. グループリビングは入居者が主人公です。どなたでも入居できます。
2. 社会とのつながりを持つことを大切にしています。
3. 人情溢れる下町、九条塔南地域で長年活動をしている居場所「よっとーくりやす」があります。共同の食堂は「よっとーくりやす」と併設します。
4. 暮らしコープと「よっとーくりやす」のスタッフが入居者と寄り添い、笑顔とありがとうを心がけます。地域の皆さんがグループリビングを大切にします。
5. 入居者のお手伝いの相談は「ちょっとお助け隊」が行います。



ことらいふ東寺の安心居住の仕組み

お部屋ごとの家賃

住戸の名前	広さ	階	家賃	入居金
住戸A	28.73㎡ (約17帖)	2階建ての1階	63,000円/月	一時金 (返還なし) 200万円 10年前払い家賃 (返還あり) 200万円 入居金合計400万円
住戸B	29.80㎡ (約18帖)	2階建ての2階	54,000円/月	
住戸C	35.48㎡ (約21帖)	2階建ての2階	64,000円/月	
住戸D	27.83㎡ (約17帖)	平屋1階	61,000円/月	



## 共に暮らしをつくり 自由なつながりを

グループビングことらいふ嵯峨野は「集まって暮らす安心の住まい」をテーマに実現しました。和風の家を改装し2016年5月にオープンしました。

現在は5人で共に生活しています。お互いに個々を尊重しあい、80歳を超えても皆生きることに向かっています。

食事や掃除など毎日の生活をするなかで、体力の衰えていく寂しさを理解しあいながら仲間としてのつながりを深めています。

いざという時には仲間がいる安心感があり、今まで知らなかったことも仲間の中で気づき成長できることなど、一人暮らしでは味わえないよいところがあります。時にはみんなで広沢の池あたりまで散歩に出かけたり、サンルームでお茶をしながらのおしゃべりは楽しい時間です。個室に戻れば一人の静かな時間を過ごすことができます。もうすぐ庭の枝垂れ梅が満開になることでしょう。



1周年記念でフルート演奏をする柴田さん（左）

2021年2月15日

ことらいふ嵯峨野入居者 柴田 宏子

## ことらいふ東寺

(株) ことらいふの二つ目のグループビングです



▼入居の詳細は下記にお気軽にお問い合わせください

【連絡先】 株式会社ことらいふ  
南区西九条東比永城町 15-1  
増田 二三夫 090-8237-0268

